

2040年問題に向き合い
令和の時代に**必要とされる施設**となるために

福祉施設長 専門講座

効果的・効率的な学び

- オンデマンド(動画視聴)を活用
- スクーリングは演習に特化した5日間(3日+2日)

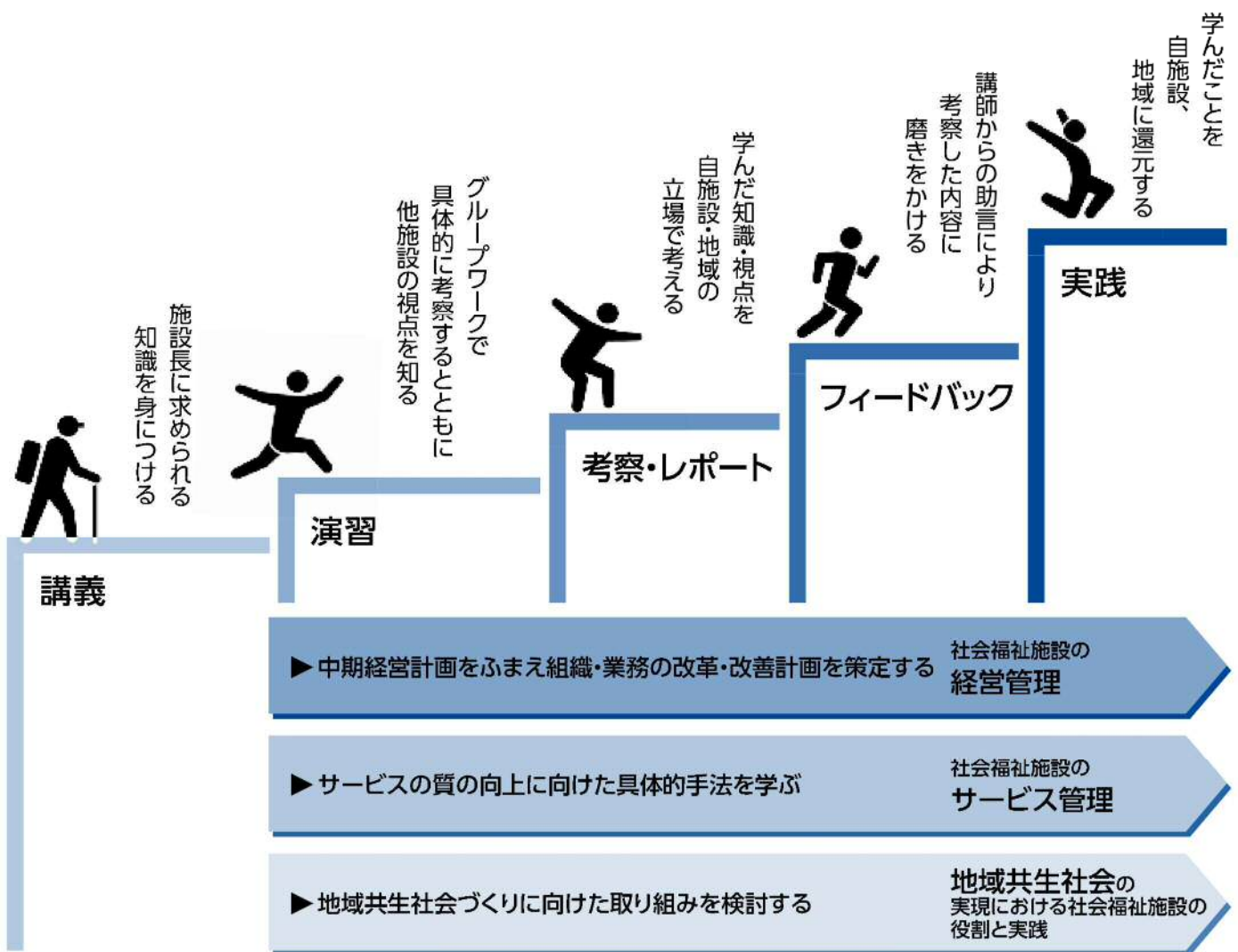
申込締切
2023年
7月25日(火)

修了者は、
「福祉施設士」
資格を
得られます。

福祉施設の命運を握る
リーダーの経営力を高める。

現状を分析して、未来を展望し、 組織の力を結集して、地域の方がたと福祉をつくる ～福祉施設長専門講座で学べること～

- 本講座は、今、福祉施設長にもとめられる経営に関する専門的知識・技術を体系的な実学により7か月かけて学ぶ講座です。
- 少子高齢化・人口減少等により社会構造が激変する中で、社会福祉施設が地域社会から求められる役割・機能を果たし続けられるために必要な経営管理の知識を学びます。
- 法人・施設の理念や方針を現場で実現する責務を負い、施設経営を大きく左右する福祉施設長の管理者としての専門性と実践能力を高めます。



本講座の特徴と内容

施設・事業所の実践改善につながる実学的内容の充実と オンラインの活用による学習効果・参加の利便性の向上

人材確保が難しい状況下でサービスの質を高め、地域のニーズに対応することが求められるなか、施設現場において直面する課題を解決する方法を身に付けられる講座内容としています。

今日的に求められる内容

少子高齢化・人口減少等
わが国社会の激変期に福祉施設に求められる
役割・機能と経営についての学び

より実践につながる実学的内容

受講者の個別の課題意識等の把握、
自施設の分析と課題への対策立案の強化、
具体的な施設経営に関するプログラムへ

法人・施設経営の転換、人材難の中での
利用者中心のサービスの質の
捉えなおしと改善に向けた内容

オンラインの効果的な活用による利便性の向上
(面接授業日程 計5日(3日+2日))
講義動画視聴により必要な関連科目を学んだうえでの
自己分析と演習に特化した集合研修を実施

— 受講の流れ —

講義はオンデマンド化し、集合研修は演習に特化します

STEP
01

オンデマンド (動画視聴)

○各科目の
講義を視聴

STEP
02

事前課題

○演習科目に関する
自己分析等

STEP
03

第1回 スクーリング(集合研修) 2泊3日

- 【演習】社会福祉施設・事業所の経営管理
- 【演習】社会福祉施設・事業所のサービス管理
- 【演習】地域共生社会の実現における社会福祉施設・事業所の役割と実践

STEP
04

レポート・ ワークシート作成

○演習科目に関する
レポート・ワークシート作成

STEP
05

第2回 スクーリング(集合研修) 1泊2日

事前課題により受講者の課題意識、学びたいことを把握し、各講師の講義・指導に活かします

1 目的

- これからの地域社会において社会福祉施設・事業所に求められる役割・機能、経営の方向性を理解します。
 - 施設長として今日的に求められる役割・能力への気づき、必要な経営管理に関する知識の学びから、実践力を高めます。
 - 自施設の現状分析から抽出した課題を自ら解決する方策を学び、施設長として具体的な取り組みのプランを立案します。
- ※社会福祉法人立の社会福祉施設を対象としたプログラム構成となっておりますが、その他の法人立の社会福祉施設に所属されている方でも受講は可能です。

2 学習期間

2023年9月1日～2024年3月31日

3 学習内容

学習は、講義動画視聴と事前課題の提出とレポートの提出・評価および2回のスクーリングによって行います。

※内容の詳細等、一部変更となる場合がございます。

講義動画視聴(オンデマンド)

オンラインで各科目の講義動画を視聴し学習します。

レポート・ワークシート

レポートとワークシートの提出により、担当講師による指導および評価を受けます。

科目	内容	提出締切日(予定)
「地域共生社会の実現における社会福祉施設の役割と実践」	6,000字以上、8,000字以内のレポート	2023年11月30日(木)
「社会福祉施設の経営管理」	ワークシートの提出	2023年12月20日(水)
「社会福祉施設のサービス管理」	8,000字以上、10,000字以内のレポート	2024年 1月31日(水)

スクーリング

すべての日程(第1回・第2回とも)に、ご出席いただきます。

ロフォス湘南は、研修の実施から宿泊まで一貫した新型コロナウイルス感染防止対策を行い、スクーリングを開催予定です。

(1) 受講期間

回数	日程(予定)
第1回	2023年9月16日(土)～18日(月)
第2回	2024年2月3日(土)～4日(日)

※日程等は変更する可能性があります。



(2) 会場 ロフォス湘南(社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院)
〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44

4 受講料

209,500円(消費税等込)

※スクーリングに関わる交通費・宿泊費等は含みません。

5 受講資格

社会福祉施設長または理事長・理事または施設長相当の業務を担当している者(※)であって、社会福祉事業経験が1年以上あり、さらに次のいずれかに該当する方

- ①中央福祉学院が実施する「社会福祉施設長資格認定講習課程」を修了した方
- ②社会福祉主事任用資格取得(3科目主事を除く)、保育士、社会福祉士、介護福祉士、医師、理学療法士、作業療法士、看護師、精神保健福祉士、介護支援専門員資格のいずれかを有する方
- ③上記①②以外の方であって、2年以上施設長相当の職にある方

※社会福祉施設長または理事長・理事以外の役職の方には、受講希望者が施設長相当の業務を担当していること等について代表者名により証明いただきます。

6 申込締切 受講定員

申込締切:2023年7月25日(火)(当日消印有効)

受講定員:200名

※申込者数が定員に達した際には、期日前に締切ることがあります。

7 申込方法 受講者の決定

巻末の「受講申込書」に所要事項を記入し、

中央福祉学院までご郵送ください(所在地は裏表紙に記載)。

2023年8月下旬に、受講の可否について勤務先(ご本人宛)に通知します。

8 講座の 修了

2回のスクーリングを修了し、レポート・ワークシートの全科目に合格した方に対して、本講座の「修了証書」を交付します。修了年月日は、2024年3月末日です。

また、全国社会福祉協議会会長より「福祉施設士」の資格証書を交付します。



受講の取り直し

受講が決定した方で、やむを得ない理由により受講を取り消す場合には、本学院長宛に届出をしていただきます。一度納入された受講料については、学習期間開始日(2023年9月1日)以降の返金は原則としていたしかねますので、あらかじめご了承ください。

日本福祉施設士会とは

日本福祉施設士会は、専門講座の修了者に授与される「福祉施設士」の資格を有する者を会員とし、施設種別を横断した組織として、生涯研修を通して福祉施設士が施設長として高い専門性を備え、社会福祉の発展に寄与することを目的に活動しています。同会は、社会福祉施設運営管理の専門職団体として1979(昭和54)年に組織され、1992(平成4)年に全国社会福祉協議会の「専門職組織」に位置づけられました。在籍会員数は約1,000名(2021[令和3]年10月現在)にのぼります。

〈主な事業〉

- 「全国福祉施設士セミナー」、「施設長実学講座」等の実践的な研修会の開催
- 会報「福祉施設士」の発行による施設経営に資する情報の提供、会員施設における実践の紹介
- 調査・研究事業を通じた施設経営およびサービス提供状況の改善・向上を目指した各種ツール開発、ツールの1つとしての「福祉QC」活動の普及

※本講座受講者の方には、受講期間中には会報「福祉施設士」とあわせて各種研修会の案内をいたします。

研修会には、受講者のみならず受講者在籍施設職員の方も含め、会員に準じた参加費にてご参加いただけます。

全体の科目構成

講義「これからの社会福祉法人・施設の役割と経営のあり方」

講義と演習「社会福祉施設の経営管理」

組織の理念・ビジョンの共有、戦略・方針・中期計画策定、リーダーシップ・組織改革
 【課題】自組織の経営の現状分析・課題抽出・改革・改善計画の立案

講義と演習
 「地域共生社会の実現
 における社会福祉
 施設の役割と実践」

【課題】自施設・地域の現状把握、地域生活課題への対応、地域共生社会づくりの実現に向けた自施設の取り組みの検討

講義
 「社会福祉施設に
 におけるサービスの
 質と権利擁護」

講義と演習「社会福祉施設のサービス管理」
 【課題】サービス管理の現状・課題の把握、解決・改善のための取り組みの立案

講義
 「社会福祉施設に
 におけるリスク
 マネジメント」

・基本の考え方、リスクの把握・分析・対策
 ・リスクマネジメントのプロセス
 ・裁判例など法的視点をふまえた学び

講義
 「社会福祉施設の
 人事労務管理」

・福祉施設における人材確保・定着・育成等的人資源管理
 ・個人・チーム等の活性化、職場風土、働きやすい職場づくり

講義
 「社会福祉施設の
 財務管理」

・福祉施設における財務分析(経営上の問題発見等)
 ・予算統制・内部統制の方法等

2023年度・第47期 プログラム(オンデマンド動画視聴、第1回、第2回スクーリング)

プログラム	内容	講師(敬称略)
講義 「これからの社会福祉法人・施設の役割と経営のあり方」	<ul style="list-style-type: none"> ○少子高齢化・人口減少等、わが国社会の変化の方向と地域における社会福祉法人・施設の役割を理解する。 ○社会福祉法人改革の趣旨をふまえ、地域の多様な地域生活課題への支援の展開に向けた社会福祉法人・施設経営のあり方について理解する。 	(社福)みかり会 理事長 谷村 誠
講義と演習 「社会福祉施設の経営管理」	<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉施設の効果的な事業推進に求められる経営管理の知識・技術を学ぶ。 ○法人・施設の理念やビジョンの確認や共有と実現のための戦略や方針・中期経営計画の策定・実行管理の方法を学ぶ。 ○施設長としてのリーダーシップ、問題解決、組織の活性化・組織変革の方法を学ぶ。 ○自施設の経営の現状分析、課題抽出を行い、組織・業務の具体的な改革・改善計画を立案する。 	(社福)堺暁福社会 理事長 宮田 裕司 (社福)慈愛会 常務理事 平田 直之 (社福)常盤会 理事長 久木元 司 (社福)聖恵会 理事長 遠部 敦也 他
講義 「社会福祉施設におけるサービスの質と権利擁護」	<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉施設におけるサービスの質と権利擁護について理解を深める。 ○社会福祉施設におけるサービスの質とは何か(利用者の尊厳、基本的人権の尊重、自己決定の支援等)を理解する。 ○福祉における利用契約の特性(判断能力の不十分性、情報力の非対称性、交渉力の不均衡性等)を理解する。 ○社会福祉施設における質の向上、権利擁護のための制度活用の意義について理解する(第三者評価・苦情解決等)。 	(社福)全国社会福祉協議会 中央福祉学院 主任教授 山下 興一郎
講義と演習 「社会福祉施設のサービス管理」	<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉施設におけるサービスの質向上の必要性と品質管理の方法を理解する(仕組化、可視化、管理サイクル、プロセスアプローチ、業務の標準化、第三者評価等)。 ○自施設のサービス管理の現状・課題を把握し、解決・改善のための取り組みを企画・立案する。 	(社福)佛子園 専務理事 村岡 裕 (社福)松美会 事務局長 辻中 浩司 (社福)同愛会 理事長 菊地 月香
講義と演習 「地域共生社会の実現における社会福祉施設の役割と実践」	<ul style="list-style-type: none"> ○地域共生社会の実現に向けて、地域において社会福祉施設に求められる役割や取り組みを理解する。 ○地域生活課題の解決を通じた地域づくりに向けたソーシャルワークの展開、関係機関等との関係づくり、協働の視点を学ぶ。 ○自施設および地域の現状を把握し、地域生活課題への対応や、地域共生社会づくりの実現に向けた自施設の取り組みについて検討・整理する。 	【講義】日本福祉大学 学長 原田 正樹 【演習】(社福)普栄福社会 理事長 濱田 和則 (社福)射水万葉会 二上万葉苑 施設長 前田 優二 (社福)六心会 理事長 堤 洋三
講義 「社会福祉施設の財務管理」	<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉施設の経営に必要な財務分析の基本的な考え方を実践的に学ぶ。 ○経営上の問題発見のための分析(収益性分析、生産性分析、付加価値、安全性分析)、予算統制・内部統制等の方法を学ぶ。 	公認会計士渡部博事務所 所長・公認会計士 渡部 博

講義 「社会福祉施設の 人事労務管理」	○これからの時代の人材確保・定着の重要性と求められる視点について学ぶ。 ○施設における人材の確保・定着・育成等の人的資源管理の方法、職場風土づくり、働き方の見直し方法等について学ぶ。 ○個々の職員、チーム、組織全体の活性化の三つの層にわたる活性化の方法について学ぶ。	調整中
講義 「社会福祉施設における リスクマネジメント」	○リスクマネジメントの考え方、リスクの把握・分析・対策、個人の尊厳のための事故予防、事故に対するリスクの考え方、安全配慮義務の構造を理解する。 ○リスクマネジメントのプロセス(データ収集、分析、予防策、マニュアル等の対応、継続検証、スキルアップ)を理解する。 ○施設におけるリスクマネジメントについて、裁判例など法的視点をふまえて学ぶ。	明治大学法科大学院 教授・弁護士 平田 厚

『福祉施設長専門講座』受講のすすめ



「福祉施設長専門講座」への期待

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 福祉施設長専門講座運営委員会 委員長 古谷田 紀夫

魅力ある福祉施設とはどのようなものなのか。その施設長は法人理念をどう広め、どのような施設運営を行っているのか。職員が自分の施設を誇りに思っている仕事をしているだろうか。そのような悩みを抱えつつ、施設長はその日一日が何事もなく無事に終えることを願っているのが現実と言える。これから、福祉事業の世界はどこまで広がっていくのか。その時、その地域、その時代の事情が絡みあって、地域社会そして日本社会が形成されていくものであるから、福祉事業の在り方を考えることは日本社会を正しく理解することに他ならない。そこで私たちは、「福祉施設長専門講座」を受講することは、その第一歩と考え動いている。本講座は、経営理論は勿論のこと、全ての人の権利尊重をテーマにした分野や、地域における福祉ニーズへの関わり方、また、施設における労務分野等多岐にわたる学びの機会が用意されている。少子高齢化による就業人口の減少は、多くの産業分野において現実の問題として捉えられているが、福祉業界ではより一層深刻な状況である。今後、私たちはその問題をどうやって解決していくべきか共に考えていかなければなりません。以上の観点を真摯に受け止め、多くの異なる文化を育んでいる人たちが、穏やかに暮らせる社会を創造する一步を共に歩んでいきたいものです。



「フクシを未来へ…」

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 社会福祉施設協議会連絡会 委員長 磯 彰格

少子高齢・人口減少社会の到来、都市と地方の問題などが我が国の大きな課題とされています。そのようななかで新型コロナウイルスのパンデミックは、社会に潜む格差を拡大し、孤独・孤立や生活困窮といった生活課題を深刻化させました。社会福祉法人は、70年の長い歴史のなかで、社会福祉事業の発展に寄与し、時代によって現れる新たな社会課題の解決という重要な使命を果たしてきました。すべての社会福祉法人・社会福祉施設が、今後も多様なニーズに柔軟に応え、地域とともにあり続けるためには、各法人が「自立的な経営」を維持し、地域の持続性をも高める「ソーシャルワーク機能の発揮」と「連携・協働」を進めることが肝要です。そのためにも、実践現場において中核的な役割を担う福祉施設長の高いマネジメント力は必要不可欠なものであると考えています。「福祉施設長専門講座」では、福祉施設長に求められる役割や知識を実践的なカリキュラムで学ぶことができます。一人でも多くの方々が本講座を受講し、「日本福祉施設士会」において「学びを継続」することで、「福祉施設士」としての高い専門性を発揮していただきたいと考えています。我われ経営者は、フクシの未来を切り拓く、創造的でチャレンジングな人材を求めています!ぜひ本講座をご受講いただき、講座を通じて得た学びや受講者同士のつながりを活かし、地域や法人経営をめぐるさまざまな課題に向き合い、「未来志向」で積極的に実践していくことを期待いたします。

企画・運営

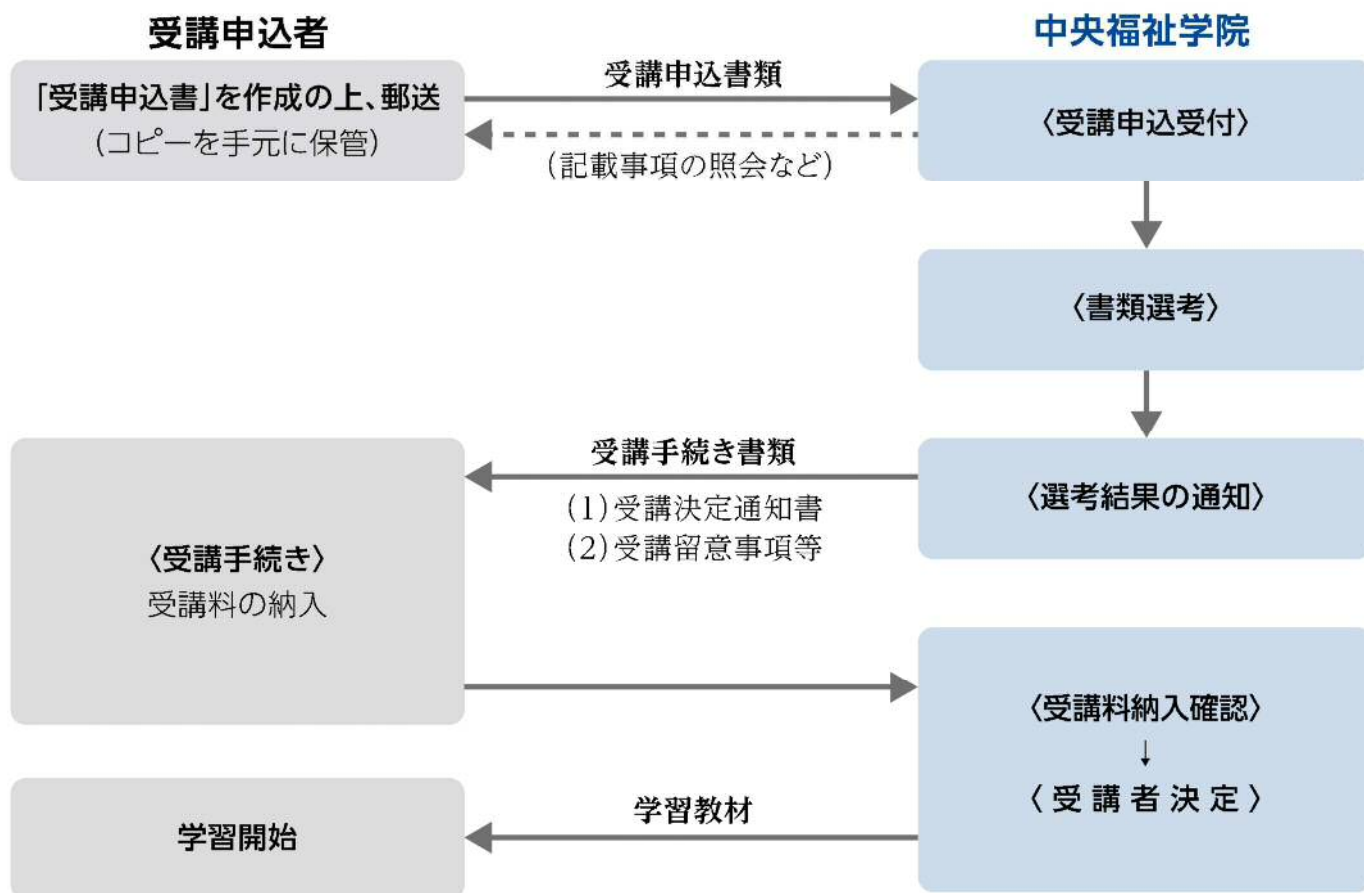
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 福祉施設長専門講座運営委員会

■企画・運営に各種別協議会が参加・協力しています

- 全国社会就労センター協議会
- 全国乳児福祉協議会
- 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会
- 全国身体障害者施設協議会
- 全国母子生活支援施設協議会
- 全国厚生事業団体連絡協議会
- 全国保育協議会
- 全国社会福祉法人経営者協議会
- 高齢者保健福祉団体連絡協議会
- 全国保育士会
- 全国救護施設協議会
- 社会福祉施設協議会連絡会
- 全国児童養護施設協議会
- 障害関係団体連絡協議会
- 日本福祉施設士会

受講申込から受講者決定までの手続き

〈申込締切〉2023年7月25日(火)当日消印有効



選考結果の通知は8月下旬に勤務先(ご本人宛)にお送りします。

新型コロナウイルスの感染状況により、本講座のオンラインでのみの実施等開催方法を変更する場合がございます。その際は、本会より改めて皆様にご連絡をいたしますのであらかじめご了承ください。

受講者へのアンケートより

- 講義で学んだ経営管理に関する手法を実際に自施設に当てはめて考察し、集団で討議を行うことができ、より理解を深めることができた。
- 他施設の方々と自分の考えを比較でき、とても参考になった。又、講師の方々の評点も聞けてとても勉強になった。
- 自身が施設長として直面していた悩みについて、講師からの助言をいただきとてもためになった。
- 公益的取組についての演習が企画立案的内容であったので、具体的に考えることができ、とてもためになった。今回学んだことを自施設に活かそうだ。

〔別表1〕 法人区分コード

コード	勤務先名
01	行政
03	独立行政法人
11	社会福祉法人
12	医療法人
13	NPO法人

コード	勤務先名
21	一般社団法人
22	一般財団法人
23	公益社団法人
24	公益財団法人
39	その他公益法人

コード	勤務先名
51	株式会社
52	有限会社
99	その他

〔別表2〕 勤務先種別コード

コード	勤務先種別名
【保護施設】	
101	救護施設
102	更生施設
103	医療保護施設
104	授産施設(生活保護法)
105	宿泊提供施設(生活保護法)
【高齢者関係施設・事業所】	
201	養護老人ホーム
202	特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)
203	軽費老人ホーム(A・B・ケアハウス)
204	老人福祉センター
207	老人デイサービスセンター (通所介護事業所)
208	老人短期入所施設 (短期入所生活介護事業所)
209	在宅(老人)介護支援センター
822	介護老人保健施設
823	介護療養型医療施設・介護医療院
821	有料老人ホーム
830	居宅介護支援事業所
832	認知症対応型共同生活介護 (高齢者グループホーム)
833	地域包括支援センター
834	小規模多機能型居宅介護事業所
299	その他(高齢者関係施設・事業所)

コード	勤務先種別名
【障害者関係施設・事業所】	
865	居宅介護事業所
866	重度訪問介護事業所
867	同行援護事業所
868	行動援護事業所
870	短期入所事業所
871	療養介護事業所
872	生活介護事業所
874	自立訓練(機能訓練)事業所
875	自立訓練(生活訓練)事業所
876	就労移行支援事業所
877	就労継続支援(A型)事業所
878	就労継続支援(B型)事業所
879	共同生活援助事業所
862	障害者支援施設
863	相談支援事業所
880	移動支援事業所
881	福祉ホーム
864	地域活動支援センター
499	その他(障害者関係施設・事業所)
【婦人保護施設】	
501	婦人保護施設

コード	勤務先種別名
【児童福祉施設】	
521	助産施設
522	乳児院
523	母子生活支援施設
524	保育所
527	児童養護施設
540	児童家庭支援センター
541	児童発達支援センター
542	児童発達支援事業所
543	福祉型障害児入所施設
544	医療型障害児入所施設
599	その他(児童福祉関係施設・事業所)
【その他の社会福祉施設等】	
801	授産施設(上記以外)
802	宿所提供施設(生活保護法以外)
810	認定こども園
844	小規模作業所(福祉作業所)
899	その他(社会福祉施設等)
【団体等】	
901	都道府県・指定都市社会福祉協議会
902	市区町村社会福祉協議会
903	社会福祉法人本部(事務局)
999	その他(社会福祉施設等以外)

※勤務先種別について直接該当するものがない場合は899または999を選択のうえ、具体的な勤務先種別名をその他欄にご記入ください。
また、総合施設や多機能型事業所に勤務している場合には、主に勤務を行っている施設・事業所の種別をご選択ください。

〔別表3〕 職種コード一覧

コード	職種名
【経営者等】	
001	会長
002	理事長
004	常務理事
099	上記以外の役員

コード	職種名
【管理者等】	
101	施設長
102	部長・課長
104	事務局長
105	副施設長
161	事務長
199	上記以外の管理者
999	その他

受講要件チェックフローチャート

Q1. 社会福祉事業経験が1年以上ありますか？

- はい ⇒ Q2へ
いいえ ⇒ 恐れ入りますが申込対象外です

受講要件があるか確認したい場合は、「受講要件チェックフローチャート」をご確認ください。

ご不明点等ございましたら中央福祉学院までご連絡をお願いいたします。

Q2. 以下①～⑤のうち、当てはまるものを選択してください

- ① 中央福祉学院実施の社会福祉施設長資格認定講習課程修了
- ② 社会福祉主事任用資格取得(3科目主事除く)
- ③ 以下の内、1つ以上の資格を持っている
 - 保育士 社会福祉士
 - 介護福祉士 医師
 - 理学療法士 作業療法士
 - 看護師 精神保健福祉士
 - 介護支援専門員
- ④ 2年以上施設長の職にある

- ⑤ 2年以上施設長相当の業務に従事している

①～⑤のどれにも該当しない方は、恐れ入りますが申込対象外です

①～④の方

Q3. 現在の役職を選択してください

①～②に該当しない方は、恐れ入りますが申込対象外です。

- ① 施設長または理事長または理事 ⇒ Aへ
- ② ①以外の役職だが施設長相当の業務を行っている ⇒ Bへ

Q4. 現在の役職を選択してください

- ① 施設長または理事長または理事 ⇒ Bへ
 - ② ①以外の役職だが施設長相当の業務を行っている ⇒ Bへ
- ①～②に該当しない方は、恐れ入りますが申込対象外です。

A 受講選考の対象となります。

受講申込書の裏面は下記を記載ください。

「1.受講資格の取得状況」

B 受講選考の対象となります。

受講申込書の裏面は下記を記載ください。

「1.受講資格の取得状況」
「2.受講要件の証明」

受講申込書の記載例(おもて面)

2023年度・第47期 福祉施設長専門講座 受講申込書

記入日 2023年 6月 1日

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院 院 中央福祉学院院長 殿



1 受講希望者氏名(カナ)

2 受講希望者氏名(漢字)

3 生年月日 年 月 日 西暦で記入

4 性別 1...男 2...女

5 自宅住所 〒 -

6 自宅電話番号 --

7 自宅FAX番号 --

8 携帯電話番号 --

9 PCメールアドレス @

10 勤務先経営区分 1...民立民営 2...公立民営 3...公立公営

11 勤務先法人名(正式名称) 1 法人名

12 勤務先名

13 勤務先部署名

14 勤務先種別 別表2をご覧ください。その他の場合具体的に→()

15 受講希望者職種 別表3をご覧ください。その他の場合具体的に→()

16 勤務先住所 〒 -

17 勤務先電話番号 -- 内線

18 勤務先FAX番号 --

19 教材の希望送付先 1...自宅 2...勤務先 (未記入の場合は勤務先にお送りします)

20 経験年数※(2023年4月1日現在) 現役職経験年数 年 月 日 社会福祉士経験年数 年 月 日

21 本研修を知らった手段 1...福祉関係者からの紹介 2...福祉関係者(親戚) 3...福祉関係者(友人) 4...福祉関係者(同僚) 5...福祉関係者(知人) 6...福祉関係者(知人) 7...福祉関係者(知人) 8...福祉関係者(知人) 9...その他

22 最終学歴 1...大学修了 2...4年制大学卒業 3...3年制大学卒業 4...2年制短大卒業 5...専門学校卒業 6...専修学校卒業 7...中卒 8...その他

23 研修案内等の送付 上記住所に全国社会福祉協議会からの研修、山崎館の案内等の送付を希望する場合は「1」希望されない場合は「2」をご記入ください。(併記記入の場合は「1」とさせていただきます)

24 その他

25 受講理由 1...自己研鑽のため 2...業務命令 3...本人における研修制度の一環 4...福祉施設士資格取得のため 5...その他

中央福祉学院記入欄
 ※両姓併記の際、氏名・氏名・勤務先名・職種・勤務先種別を記載した名簿を配布いたします。

裏面へ

受付番号

受講申込書の記載例(うら面)

記入必須

1. 受講資格の取得状況

取得資格等の番号に○をつけ、取得年月日等をご記入ください。

番号	資格名	取得年月日(西暦)	備
①	社会福祉施設長資格認定講習課程 (中央福祉学院)修了★	2007.3.31	★2022年3月修了見込も含む
2	社会福祉主事任用資格(3科目主事除く)		
3	保育士		
④	社会福祉士	2003.3	
⑤	介護福祉士	2000.3	
6	医師		
7	理学療法士		
8	作業療法士		
9	看護師		
10	精神保健福祉士		
11	介護支援専門員		
12	2年以上施設長の職にある		
13	2年以上施設長相当の業務に従事している		

記入必須です

該当者のみ記入

2. 受講要件の証明

1. 受講希望者役職名 副施設長
2. 受講要件として該当する事項(当てはまるものに○をつけてください。)
 - ・施設長相当の業務を2年以上担当している

(業務内容)

・その他()

3. 受講希望理由

受講希望理由を記入

上記のとおり、受講希望者の受講要件を証明します。

法人名 社会福祉法人 ロフオス福祉会

法人代表者役職名・氏名 理事長 葉山 花子

(公印)

該当者の方は必ず
記入してください

重要 お申込書の提出前に以下の事項を確認のうえ、ををご記入ください

- 本研修は厚生労働省の定める、社会福祉施設長の具体的な要件を取得するための研修会「社会福祉施設長資格認定講習課程」とは異なりますのでお間違いないようご注意ください。

お問い合わせ・受講申込書送付先
社会福祉法人 全国社会福祉協議会
中央福祉学院 福祉施設長専門講座係

〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44
TEL.046(858)1355 FAX.046(858)1356

[ホームページ] <https://www.gakuin.gr.jp/>

中央福祉学院

🔍 検索



個人情報の取扱いについて

申込者の皆様に関する個人情報は、受講の承認及び不承認の決定、承認通知書及び不承認通知書の送付等、受講承認作業関連のみの目的で使用し、他の目的で使用することはありません。

加えて、受講を承認し受講者となった皆様に関する個人情報は、研修の受講者台帳および面接授業で配付する参加者名簿の作成、研修テキストや各種資料の送付、履歴状況管理、研修修了後の修了証明書の発行等、研修事業関連のみの目的で使用し、他の目的で使用することはありません。

その管理については、全国社会福祉協議会「個人情報の保護に関する方針(プライバシーポリシー)」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

※全国社会福祉協議会のプライバシーポリシー等は、ウェブサイトに掲載しています。

(<https://www.shakyo.or.jp/kojin.html>)